

医療だより

市民医療センター

戸田市美女木4-20-1

☎ 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川口～北戸田線

●「市民医療センター」下車

tocoバス(美笹循環)

●「市民医療センター」下車



診療科目

● 内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科
診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

受付時間

- 月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時
- 火～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時
- 土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時
- 予防接種：月・水・金曜日(要予約)

休日・平日夜間の診療機関(急患)

かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

新型コロナのPCR検査は行っていません。

【内科・小児科】※詳しくは蕨戸田市医師会ホームページをご覧ください

戸田休日・平日夜間急患診療所

●蕨戸田市医師会館となり ☎445-1130

休日診療日 1/1、2、3、8、9、15、22、29

休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

平日夜間診療月 1月(奇数月)

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間

午後7時30分～10時30分 ※休日を除く

蕨休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎431-2611

休日診療日 2/5、11、12

休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

平日夜間診療月 2月(偶数月)

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間

午後7時30分～10時30分 ※休日を除く

【小児科】※平日夜間診療時間のあと

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分～翌朝7時

※受診される場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください

月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ☎442-1111)

火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 ☎253-1551)



【産婦人科】休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

1月1日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月2日(休・月)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月3日(火)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月8日(日)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月9日(祝・月)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月15日(日)	西村レディースクリニック ☎447-5311 戸田市本町3-15-21
1月22日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月29日(日)	岩沢レディースクリニック ☎445-4103 戸田市本町4-17-28 WINビル301号
2月5日(日)	桜公園クリニック ☎446-3950 戸田市新曾南3-12-18
2月11日(祝・土)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
2月12日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18

救急電話相談

#7119 ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、都県境の地域でご利用の場合)

24時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気(発熱、下痢、おう吐など)やけがの家庭での対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。緊急に医療機関の受診が必要な時は、受診可能な医療機関(歯科を除く)を案内します。

※県AI救急相談も行っています。電話が苦手な方でも気軽に相談できます。県医療整備課のホームページから右のQRコードから、スマートフォンやパソコンでご利用ください。この電話相談およびAI救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 県医療整備課 ☎048-830-3559



県精神科救急情報センター ☎048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を有する方や、その家族などからの緊急的な精神科医療相談を電話で受け付けています。相談内容から適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行います。非通知設定の電話はつながりませんので、番号を通知できる電話でお掛けください(県在住者が対象)。

受付時間 月～金曜日：午後5時～翌朝8時30分

土・日曜日、祝日：午前8時30分～翌朝8時30分

問い合わせ 県立精神保健福祉センター ☎048-723-3333

コラム

増えている心不全

市民医療センター
内科 本多 勇一郎

高齢でも元気な方が多くなりました。しかし、長く生きると血管も老化します。心不全は血管の老化や高血圧、心臓の弁や冠動脈の障害などから起こり、日本全国では、120万人の方が通院治療を受けています。80歳以上の有病率は10%以上です。

病気が進むと、動悸や息切れ、足のむくみ、夜間尿量の増加、横になると息苦しいなどの症状が強くなります。

気になる方は、かかりつけ医にご相談ください。聴診器による心音の判定、血圧測定などを行い、疑わしい時は、胸部X線、心電図、心臓超音波検査、血液検査などを行います。

自分でできる心不全の予防や改善方法として最も大切なのは食事の塩分を減らすことと、軽い運動をすることです。コロナ禍で運動不足の方が増えました。運動不足は心臓、血管、筋肉に悪影響を及ぼします。心臓、血圧などに不安のある方は、かかりつけ医のアドバイスで運動量を決めましょう。

※心不全の薬は利尿剤とACE阻害薬(またはARB薬)を基礎薬とし、それ以外の薬はそれぞれの状態を診て処方されます